

ぼらぐみだより



日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じますよね。日中は天気が良いと戸外に出てボール遊びや砂場セットの型に砂や落ち葉を入れケーキなどを作ったり、時には虫探しをしたりして過ごしています。室内では以前はパズル・お絵かきといった遊びがブームでしたが、年長・年中のお兄ちゃん・お姉ちゃんと一緒に過ごすことが増え、少しずつトランプ・神経衰弱といったルールのある遊びにも興味を示し、教えてもらいながら遊ぶ姿も増えましたよ。



子どもたちのある日の一コマを共有します。この日は積み木で遊ぶ子もいれば、レインボーブロック・LaQといったブロック遊びをしている子もいました。

問:なぜ積み木をお道具箱に並べているのでしょうか?



正解は

積み木をクロワッサンにみたてパン屋さんごっこをしている。

でした。

子どもたちが何をして遊んでいるのか理解した後、ママごとコーナーから頭に巻くバンダナを持ってくると、違う遊びをしていた子までもこのように積み木だけでなく遊んでいたブロックも一緒に使ってパンを作っていました。



子どもたち同士の会話では「レンジ(オーブンのこと...?)にきれいに並べてね」「早くしないとパン焦げちゃうよ」「いらっしゃいませ～おいしいパンありませんか」などといったものがありました。

お店屋さん側とお客さん側に自然とわかれ、

Aちゃん「これもらっていいですか？」

Bちゃん「これはCちゃんが作ったパンだからね～」

Aちゃん「Cちゃん、これ買うけんね」

Cちゃん「え～…いいけど？そお～っと持って行ってよね！」

と大人顔負けのママごと遊びが繰り広げられて思わず笑ってしまいました。

お店屋さんごっこの品物づくりを経験したことでこのような遊びに発展したのかなと思うと成長を感じますよね。